

幸田 安司 議員

盟政会



厚地 弘行 議員

新政みらい



防災

感染症が収束していない
場合の避難所運営は

議員 避難所は、3密のリスクを伴うので感染症のリスクがより高まる。また三田市は保健所を持たず、感染の疑いがある住民を把握できないまま、避難所運営をしていかなければならないのでは。

市 避難所内での感染防止の徹底。保健所との連携を密にする。

避難者同士の間隔を確保し、飛沫感染防止や衛生管理など徹底する。体調不良者は他の避難者と分離対応する。濃厚接触者等で避難される方の情報を保健所から提供いただけることを確認しており、保健所と連携を密にし、適切に対応する。(森市長)

他の質問 ● 集中豪雨や台風等の市の対策について

教育

オンライン授業の進め方
と展望

議員 世界中でオンライン学習の必要性が高まっている。新型コロナウイルス感染症の第二波に備えるためにも取り組みを進めるべきと考える。また将来的展望について見解を聞く。

市 今年度中の実現を目指し進める

子ども達に一人一台タブレットを配布し、家庭で取り組める学習課題の出題や健康観察、非常時におけるオンライン学習ができる環境を年度内に整える。今後、学習履歴を記録蓄積し、理解度に応じた個別最適化された教育の実現を目指す。(鹿嶽教育長)

他の質問 ● 市民病院の統合計画について
● 地域での外出支援について

令和
2年

6月定例会の結果
6月5日～6月25日(会期:21日間)

市長提出議案	26件
議員提出議案	2件
請願(うち1件は3月定例会から継続審査)	2件
意見書	2件

詳しくは
こちら



全議員が賛成した議案

予算 一般会計補正予算(第3号) など予算案件3件

条例 コロナに負けるな!さんだエール基金条例の制定 など条例案件10件

その他 三田市一般会計補正予算(第1号)の専決処分報告 など報告案件9件
議員報酬等に関する条例の一部改正 など議員提出議案2件
高規格救急自動車の取得 事件決議1件
公平委員会委員の選任につき同意を求めること など人事案件3件
新型コロナウイルス感染症対策に係る意見書 など意見書案2件

議会内容等の詳細は、
三田市議会
ホームページの
「審議予定・結果」を
ご覧ください。

賛否の分かれた議案・請願(福田秀章議員は、議長のため表決に加わりません。)

賛成:○ 反対:×

件名	新政みらい					盟政会				公明党			市民の会			日本共産党 三田市議団		無会派		結果		
	厚地弘行	田中一良	佐貫尚子	北本節代	西上俊彦	中田哲	森本政直	幸田安司	白井和弥	三谷禎勇	松岡信生	平野管子	大西雅子	檜田充	美藤和広	佐々木智文	國永紀子	長尾明憲	多宮健二		小山裕久	小杉崇浩
条例 市民病院事業使用料及び手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	賛成19・反対2 可決
請願 身体障害者優先駐車場に関する請願	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	賛成8・反対13 不採択

賛否の分かれた議案請願



議案第47号：三田市民病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について

可決
賛成19名
反対2名

内容 令和2年度の診療報酬改定に伴い、三田市民病院における選定療養費について、初診時の金額を見直し、新たに再診時の金額を定めるに当たり、当該条例の一部を改正しようとするもの。

反対討論

今回の条例改正の背景は、大病院の外来は紹介患者を中心とし、一般的な外来受診は「かかりつけ医」に相談することを基本とするシステムを定着させるためのもの。

市民病院では、紹介率が約70%まで伸び、「かかりつけ医」に相談するというシステムは一定定着している。一方的に紹介状なしの外来患者に対して初診時に5,000円を徴収することは、市民の受診の権利を奪うことになりかねない。全国一律的な規約改正等によるものとはいえ、市民にとって不利益となる要素が大きいためこの議案に反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)

賛成討論

これは、厚生労働省の令和2年度診療報酬改定に伴って改定するものであり、金額設定については、初診時選定療養費を現行の2,200円から5,000円に、再診時選定療養費は、新たに2,500円と定められた最低金額をそれぞれ設定するもの。

患者が負担する金額の変更については、6月8日に行われた経営政策常任委員会での審査においてもホームページ、広報紙などを通じて市民等にわかりやすく周知し、大きな混乱を生じないよう努めるとの当局からの説明もあったことから、この議案に賛成。

(盟政会 三谷禎勇)



請願第9号：身体障害者優先駐車場に関する請願書「三田市ゆずりあい駐車場条例」

不採択
賛成8名
反対13名

反対討論

まずは、平成24年に始まった「兵庫ゆずりあい駐車場制度」の実効性を高めるよう県に要望をあげるべき。市では平成30年に「三田市障害者共生条例」が制定されており、この条例をもとに優先駐車場の整備やマナー向上等の対策を行い、合理的配慮を進めていくことで解決していけると考える。

条例の賛否はその内容によって、審議すべき事であり、原案がないまま条例制定を願うこの請願に賛成することはできない。

(盟政会 幸田安司)

賛成討論

現在、優先駐車場には健常者を含むさまざまな人が停めているが、だれが利用できるのかを明確にしたルールがない。

優先駐車場だと気づかず駐車している人には、わかりやすい表示が必要であり、また気づいて駐車している人には、意識啓発が必要である。そのためには条例の制定が一番効果的だ。

民間の駐車場を使う人にもモラルを啓発する上で、市が条例をつくり考え方を示すことは大変有効であると考え、この請願に賛成。

(新政みらい 厚地弘行)